
北紀行

玲於奈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

北紀行

【Nコード】

N5318BA

【作者名】

玲於奈

【あらすじ】

テレビでは話題の大型新ドラマも始まります。それにまつたあわせた訳ではないですが、それにあわせての新作です。お楽しみください。本編の北紀行。壮絶でしたが、今回はまずはここまで。

（前書き）

多くの小説から、クリックして

選んでいただき本当にありがとうございます。

つたない小説ですが、最後まで読んで頂けたらありがたいです。

「なんで今年は海外に行けないの？」
妻の厳しい声がする。

おいおい待って暮れよ。

年末に、しかも暮れも押し詰まった
大晦日に高級ワインで和解したじゃないか。

吉城に行つて、一本8千円。ハートのマークラベル。
まあそれでこまかしたつもりだった。

今日は、新年も明けて、6日。もうすぐ成人式。
毎年、成人式は若者が荒れてこまるとかなんとか。
何かにあおられているだけで、多くの人は平穏だと
私は思うのだが・・・

妻の小言が続く。

「年明けのマイルは、ボーナスポイントがつくのよ」
また、マイルの話か。

あのマイル。本当にこれで苦労している。

昨年もそれで、海外に2度。

マイルをためるため。上級になるためだ。

そして、楽しい気分で帰りの空港へ。

ところが、またまたマイル。

実はポイントアップに足りないことがわかり。

急遽また、巡礼に。

しかも、すごい。

沖縄往復。おいおい。泊まらないのか。

私は泊まりたかったが。

リゾートに冬に行つて、気分を壊したくないとのこと。

おいおい。疲れるよ。

たしかに、首里城まで行つたタクシーの運ちゃんは。

この冬、一番の冷え込みです。

と言っていたが。

なんのことはない寒さ。

運ちゃん、気をきかせて海まで

行ってくれたが、なんのなんの暖かい。暖かい。

入れるのではないかと思った。

しかしながら、人は一人もない。

海は青い。くさつても、冬でもリゾート。

と思った。

そして、冒頭のこの話である。

まあ、妻は近所の奥さん連中に海外に行った話を
新年会で話されて相当悔しかったらしい。

「碇 指令でした。」

あやなみの声がする。

そして、私は、新成人が旅立つ日に空港にいる。

人はなぜ、北を目指すのだろう。

カウンターがぱたぱた音を立てている。

考えているのは私だけだが。

妻はとつくに、カウンター脇のなんとかラウンジに行った。

そういう風にちやほやされたいらしい。

そのための参りなのだ。

私は、ぼんやりと空港のロビーに居る。

この方が私は好きだ。

若い娘が、おばあちゃんを連れて。

「ばあちゃん。まだ出発しないから。何か食べよう」

娘さんは、上京してきたおばあちゃんを送りにきたのだろう。

そういつて、2階に行く。

なんだかあたたかい。

そんな風景が私は好きだ。

（後書き）

最後までありがとうございます。

もしよろしかったら、風のグラスゴー。

風のグラスゴー風雲編。

そして、昨年度、好評いただいた、坂の上の街。
今度のドラマも同一人物ですが。

ご覧下さい。

旅行中、坂の上の雲は、4巻目に来ました。

NHKのドラマでもでしたが

私の好きな、広瀬武夫 氏

亡くなってしまいました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5318ba/>

北紀行

2012年1月14日20時58分発行